

インドネシア・ニューギニア日食 報告書紹介(1)

編 集 部

インドネシア・ニューギニア日食から半年が過ぎ、あちこちのグループから報告書が発行されはじめています。アマチュアだから何も報告書など出さなくても……、という意見もあるようです。しかし、アマチュアであっても貴重な経験をしたのですから、自分自身の記録としても、あとに続く人々のためにも、報告書という形に残しておくのはとても大切なことではないでしょうか。ここでは日食情報センターに寄せられた報告書を紹介したいと思います。

(1) 1983.6.11 インドネシア・ニューギニア日食観測報告

東京理科大学天文研究部日食観測隊 1983年9月4日発行
B5判、216ページ(カラー4ページ)

前回に続き、厚い報告書が発行されました。経過・日食概況と局地予報・隊の構成・観測概況に続き、共同観測項目、一般観測項目が全体の3分の2ほどにわたり報告されています。早い時期に発行されたので、中間報告的なのが残念ですが、アマチュアとして初の4地点観測のようすがよくわかります。器材の開発製作記事や遠征報告などは、これから日食に行ってみようとする人々に、大変参考になるでしょう。巻頭や中ほどのカラーグラビアもすばらしいものです。

(2) INDONESIA ECLIPSE 皆既日食310 sec

インドネシア日食北海道観測隊 1983年9月20日発行
B5判 65ページ

アート紙にオフセット印刷でカラーもふんだんに使った立派なものです。日食紀行や当日のドキュメントは写真を非常にたくさん効果的に使い、まるで読者がその場に居合わせたような気分させます。21ページにわたる観測報告も、ユニークなものがあり参考になります。あとがきに「お金が余って贅沢な本書を発行している訳で無く、のちのちまできちんと残していただける様な報告書をとの考えから……」とありますが、まさにその通りのものが出来上がったようです。

(3) インドネシア皆既日食観測報告書

83年日食観測会東京A隊(広電グループ) 1983年9月30日発行

B5判 38ページ

広電のツアーのうち、東京発A隊の17名の報告書です。グラビア・概況に続き、各自の観測報告が述べられています。ページ数の関係からか、旅行記等はあまりなく、オーソドックスにまとまった報告書です。

(4) 1983年インドネシア皆既日食観測報告

東海大学天文学OB会インドネシア日食観測隊 1983年10月10日発行

B5判 88ページ(カラー写真貼付)

シベリアに続き2度目の報告書で、表紙は美しいカラーです。遠征準備・観測報告・印象記・遠征報告と続き、隊としてよくまとまっている様子がよくわかります。観測報告の中では、三種類のニューカークフィルター(簡易フィルム法・疑似コロナ法・乾板法)によるコロナの撮影がユニークでおもしろく、参考になるでしょう。

(5) ジャワ日食・5分間の興奮 JTB・Dグループ観末記

JTB・Dグループ有志 1983年10月発行 B5判 68ページ

手書き原稿をそのまま印刷製本したのですが、大部分の原稿がジャカルタのプレジデントホテルの便せんに書かれており、いかにもそれらしい雰囲気になつかしさをさそいます。アンケートの質問に答える形式でまとめられていて、その点で読みやすくなっています。この報告書は超限定出版38部だそうですから、一般の入手は無理かと思われます。

今までに情報センターで把握している報告書を、発行順に紹介しました。この他にも多くの報告書や、同好会誌の特集等が出されていると思います。できるだけ情報センターとして購入したいと考えていますので、ぜひご一報下さい。